

事務事業シート(事業仕分け)

担当部・課	産業観光部 商工課
シート作成担当者 係・氏名	商工係
連絡先電話番号	

整理番号	26	3	14-1
------	----	---	------

事業名	島田産業まつり補助金		事業開始年度	事業終了(予定)年度
			不明	
総合計画の位置づけ	大綱	3. 産業がいきいきと活発なまち		
	施策の柱	3-3 商業・サービス産業の振興		
	重点的取組	■ 重点的取組・重点プロジェクト		
	取組名	商業の活性化		

根拠法令等	区分	■ 要綱・要領
	名称	島田産業まつり補助金交付要綱
事業区分		■ 補助金・交付金

目的	1 対象(何を、誰を、どの地域を)	対象	対象の範囲	単位
	■ 企業・団体 島田産業まつり実行委員会		① 島田産業まつり実行委員会	
			②	
		③		
2 意図(どのような状態にしたいか)	島田市内で生産される工業製品、地場産品等の地域の産業を広く紹介し、企業と市民が連帯意識を深め、産業の振興とまちづくりを図る。	事業の成果	成果を表す指標	単位
			① 出店者数	人
			② 来客数	人
		③		
内容	3 手段(目的を実現するために、市が具体的に行っていること)	事業の実績	実績を表す指標	単位
	島田産業まつり実行委員会に事業費の1/2以内で島田産業まつり補助金を交付する。		① 補助金額	千円
			②	
		③		
<p>* 事業実施主体である島田産業まつり実行委員会に対し補助金を交付する。                  補助率 事業費の1/2以内                  限度額 250万円(要綱上は300万円)                  事務局 市と商工会議所が隔年で担当しH26年度は商工会議所</p> <p>1. 開催期日                  毎年11月の中旬に2日間開催。平成25年度は11月9日(土)、10日(日)に開催予定であったが、雨天のため9日(土)のみの開催となった。                  平成26年度も11月中旬「8日(土)、9日(日)」に開催予定である。</p> <p>2. 開催場所                  平成22年度 旧ビック三丁目店跡地で開催                  平成23年度～平成25年度 「おび通り」と「本通り」を会場に実施                  平成26年度 「おび通り」と「本通り」を会場に実施予定</p> <p>3. 主催                  島田産業まつり実行委員会(島田市・島田商工会議所・島田市商工会・地元企業等)</p> <p>4. 開催内容                  工業製品の展示PR即売、地場産品の展示即売、農林産品の即売、イベント・アトラクション</p>				

背景(必要性)	事業の開始時期における社会的背景や事業の必要性	島田市の活性化のため市内で生産される工業製品、地場産品等の地域の産業を広く紹介し、企業と市民が連帯意識を深め、産業の振興とまちづくりを図る必要があった。
	上記の状況はどのように変化しているか	地方都市と地方の中小企業の衰退が進んで、活性化が必要な状況

効果・成果の説明	中心市街地で行われる最大級のイベントを開催することによって、地域の産業を広く紹介するとともにまちの賑わいを創出することができる。 ・出店者数はスペースが足りないのので85店前後で推移しているが、希望者全員が出店できていないので潜在的需用あり ・来客数は1日あたり2万人程度だが測定方法を確立して精度を高めて検証する必要あり
----------	---

過去の 見直し内容	平成14年度より補助金上限金額を360万円に減額 平成16年度より補助金上限金額を300万円に減額 平成23年度より補助率を2/3から1/2に変更 平成24年度より補助金予算額を250万円に減額
廃止した場合の 影響	産業まつりが継続できないか、継続しても非常に小さなイベントになる。
民間委託・民営化の 受け皿	■ なし → 市が直営で実施しなければならない理由 産業振興のため必要なイベントであり、市として実施すべきである。
国・県・他市町、民間等での類似事業	産業祭事業費補助金(藤枝市) 隔年開催
市における 類似事業	島田夏まつり補助金
課題・今後の 方向性等	1. 費用対効果を高める為に、実績(来客数・売上・顧客満足度等)を測定し次回の開催にいかせる体制づくりが必要 2. 補助金が交付されている団体の事務局を市が実施しない体制づくりが必要 3. 本来の地場産品、特に工業面での出店が少ないので、開催方法等の検討をし、特に地域産業のPRを図っていくことが必要 4. 旧金谷町の文化産業祭や旧川根町のふれあいまつりと調整をどのように行っていくか検討が必要

(金額単位:千円)

対象の範囲 実績・成果の指標	基準値 目標値	H23(実績)		H24(実績)		H25(実績)		H26(目標)	
		実績値	達成率等	実績値	達成率等	実績値	達成率等	目標値	達成率等
対象 ① 島田産業まつり実行委員会 ② ③									
事業の実績 ① 補助金額 ② ③	2,500	2,690	107.6%	2,073	82.9%	1,786	71.4%	2,500	100.0%
事業の成果 ① 出店者数 ② 来客数 ③	85	84	98.8%	86	101.2%	85	100.0%	85	100.0%
	35,000	35,000	100.0%	40,000	114.3%	25,000	71.4%	35,000	100.0%

(単位:円)

事業費の内訳 平成25年度 決算見込み	内 容	金 額	積 算 等
	負担金、補助及び交付金	1,786,000	事業経費3,572,558円の1/2
			イベント費667,923円 通信費37,039円 保険料213,680円
			需用費120,230円 業務委託費2,067,484円 広告宣伝費434,020円
			雑費32,002円
合計		1,786,000	

(金額の単位:千円、但し市民一人当たり負担額の単位は円)

事業費	直接 事業費	財源 内訳	H23(決算)			H24(決算)			H25(決算見込)			H26(予算)		
			正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時
	財源内訳	国庫支出金												
		県支出金												
		地方債												
		その他												
		一般財源		2,690		2,073		1,786		2,500				
	財源計(a)			2,690		2,073		1,786		2,500				
	人件費	職員	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時
		人工(b)	0.30			0.10			0.30			0.10		
		1人当たり人件費(c)	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741
		人件費(d=b×c)		2,174		725		2,174		725		2,174		725
事業費合計(e=a+d)			4,864		2,798		3,960		3,225					
市民一人当たり負担額(f=(e)/10万人)			49		28		40		32					